

思いやりの心で安全な町に 『交通安全キャンペーン』

10月9日(木)、町内で小・中・高校生が合同で交通安全キャンペーンを行いました。
この取り組みは、地域やドライバーへの啓発活動を通じて交通安全意識の高揚を図るとともに、児童・生徒間の交流を深めることを目的に実施されました。
児童・生徒たちは、交通安全祈願メッセーカードや、ポケットティッシュ・お菓子をドライバーに手渡ししながら交通安全を呼びかけました。
参加した上ノ国中学校生徒会執行部の生徒たちは「地域の人のちと関わり、交通安全に対する取り組みができてよかった。」と話し、地域全体で交通安全への意識を高める機会となりました。



多彩な競技で大盛り上がり！ 高齢者スポーツ大会



10月14日(火)、スポーツセンターで第47回上ノ国町高齢者スポーツ大会が開催され、約130名が参加しました。
対戦前には、上ノ国保育所の子どもたちが可愛らしくも力強い舞踊を披露し、参加者たちにパワーを与えていました。
計5種類の対戦競技の中には新種目もありましたが、仲間や運営サポートとして参加した上ノ国高校の生徒たちに見守られ、チーム一丸となって競技に臨んでいました。
白熱した戦いの末、木ノ子米寿会・石崎和光会合同チームが優勝し、最後はみんなで健闘を称え合っていました。

秋の味覚・サンマを食べよう！ 上ノ国保育所「さかなの日」

10月16日(木)、上ノ国保育所では『さかなの日』として、子どもたちが用意されたサンマに触れ、秋の味覚を堪能しました。
先生たちが用意したサンマを前に、子どもたちは「つめたい！」「ぬるめるしてる！」と興味津々でした。
その後、焼きたてのサンマが振る舞われると、子どもたちは「ガブっ」とまるかじりしてみたり、慣れない箸づかいで骨を取ろうとしてみたりするなど、一生懸命挑戦しながらサンマを頬張っていました。
「おいしいねー」「うまく骨がとれたよー」といった声も聞こえ、にぎやかな食卓となりました。



高校と地域が共だ歩む町づくり 『地域懇談会』開催



10月21日(火)、ジョイ・じよぐらで『上ノ国高校に関する地域懇談会』が開催され、59名の方が参加しました。
初めに、北海道教育庁滝田課長補佐や、具体的な施策の説明、上ノ国高校の森コーディネーターや、谷事務局長から地域探究学習や地域説明会、留学の取り組みなどについて説明がありました。
参加者は熱心に話を傾けていました。
その後、参加者はグループに分かれて意見交換を行い、「高校があることによってまちが活性化してくださいます。」など、高校の魅力や高校生を応援する声が挙げられました。
今回の懇談会は、高校を中心とした地域の絆を再確認する、貴重な機会となりました。